

MINIMINI MINES

平成28年度鉱業博物館特別展

惣山奉行 梅津政景が興した秋田の鉱山と町

鉱業博物館で開催します

◆開催期間：平成29年3月7日（火）～5月7日（日）

◆会場：鉱業博物館 2階 特別展示室

平成29年2月12日（日）まで阿仁郷土文化保存伝承館で開催されていた、平成28年度阿仁伝承館・秋田大学連携展「惣山奉行梅津政景が興した秋田の鉱山と町」が、3月7日（火）から会場を鉱業博物館に移し、開催されることになりました。

この特別展では、江戸時代初期、佐竹家が秋田に転封されたのち、秋田藩の先頭に立って鉱山開発を指揮した藩士「梅津政景」に焦点を当て、その足跡をもとに鉱山町が開発されるその「幕開け」について伝えるものです。

ギャラリートーク 開催のお知らせ

日時：平成29年3月7日（火）
13時30分～

会場：鉱業博物館 特別展示室

案内人：今井 忠男 鉱業博物館長

※入館・聴講共に無料

どなた様でも聴講いただけます。
事前申込みは不要です。

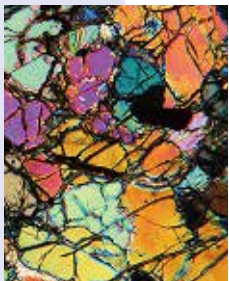
特別展の開催期間は約2か月にわたり、春休みや大型連休と重なる時期です。阿仁鉱山や院内銀山の創成期に思いを馳せるとともに、当時の秋田の町作りが進められていく様子を想像しながら、ご覧になってみてはいかがでしょうか。

また、開催初日の3月7日（火）には、特別展の監修者である、今井忠男 鉱業博物館長によるギャラリートークを開催します。阿仁郷土文化保存伝承館でギャラリートークを開催した際には、多くの方が訪れ、大変興味深く聴講されていました。どなたでも聴講いただけますので、ぜひ、鉱業博物館でのギャラリートークにご参加ください。



特別展ポスター

岩石プレパラートの写真展示 まもなく始まります



橄欖（かんらん）岩の完成写真のイメージ



ピントや明るさをモニターで確認しながら撮影します

石を薄くして光に透かしてみると、その外見からは想像できない美しい模様と鮮やかな色彩の世界が広がります。一つ一つの石を形作っている鉱物の種類やテクスチャーの違いから、見え方は千差万別です。ガラスに貼り付けられた岩石のかけらを約30ミクロンの厚さまで薄くしていくので、薄片を作成するには高い技術を要します。かつては、多くの大学で薄片製作を専門に行う技術職員が従事していました。地質学を専攻する学生は、専門課程に入るとすぐ薄片を作成する実習を行います。最初はとても難儀します。

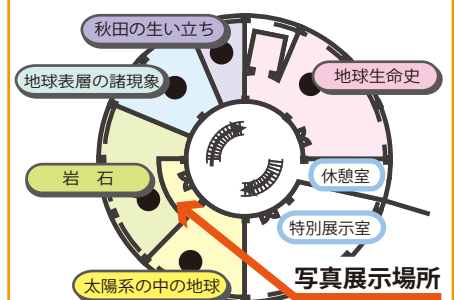
この様に技術を要し特殊な顕微鏡が必要なことから、多くの人目に触れることは少なく、偏光顕微鏡が発明されてから百数十年の間ずっと、岩石学者など限られた人だけが知る世界でした。

新しい企画として、2階展示室入口の壁に、薄片の顕微鏡写真を集めた展示を行うことになりました。秋田大学の教員や学生が作成した研究用薄片の中から選んだものです。展示が開催されましたら、本誌でお知らせする予定ですので楽しみに。

岩石プレパレートって何？

岩石や鉱物を肉眼で見分けるのは困難です。薄片にすることで光を透過するようになり、それを偏光顕微鏡で観察すると、鉱物の種類や結晶の光学的な特性などを知ることができます。

2階館内図

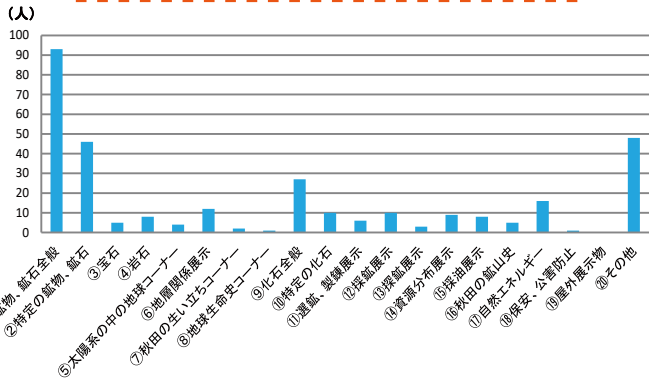


鉱業博物館来館者アンケート集計結果

2016年9月～12月

鉱業博物館では、より良い展示環境を目指し、来館者を対象に、アンケートを実施しております。2016年9月1日から12月22日までの入館者数は2117名で、そのうち、アンケートにお答えいただいた232名の回答を集計しました。大変多くの回答を賜り、誠にありがとうございました。

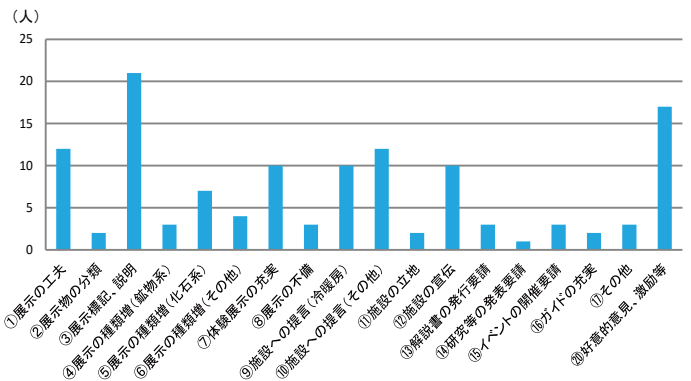
面白かったもの、興味を引かれたもの (自由記述からのグループ分け)



面白かったもの、興味を引かれたものとして、1階の鉱物や鉱石を挙げる方が最も多く、種類と量の多さに驚いた、という感想が多く寄せられました。特定の鉱物に興味を持った方もかなりおり、蛍光鉱物や紫水晶（ジオード）などの回答が目立ちました。

⑳その他の項目には、館内の全部が面白かった、というありがたいご意見も多数含まれています。

博物館へのご意見 (自由記述からのグループ分け)



博物館へのご意見として多かったのが、展示の表記の仕方や説明に関することでした。内容としては、鉱物や鉱石の標本名が難しいので漢字にふりがなを付けてほしい、という意見が大半でした。当館では、約3,300点の標本を展示しており、時間が掛かっておりますが、随時ふりがな表記を加える作業を進めております。

また、暑い時期は冷房を付けてほしい、という意見も多くありました。夏季は、3階講堂でエアコンを稼働し、休憩所として開放しております。また1階にエアコンを、2階には扇風機を数台設置しました。受付ではうちの貸し出しも行ってありますのでご利用ください。

その他、体験型の展示を増やしてほしい、音声案内がほしい、などのご要望もありました。

お答えいただいたアンケート結果のご意見をもとに、より一層、博物館運営の改善に役立たせていただきます。今後ともよろしくお願い申し上げます。

平成29年度

鉱業博物館サイエンスボランティア を募集しています!

鉱業博物館では、平成29年度鉱業博物館サイエンスボランティアを募集しています。サイエンスボランティアは、博物館の様々な活動に参加し運営をサポートします。豊富な知識を活かした展示案内や、団体見学時の誘導、子ども向けイベントの補助のほか、工作や情報分野の作業などがあります。

石や化石が好き、鉱山に興味がある、人と接する活動がしたい、木工・電工などの特技を活かしたい、社会貢献活動をしたい方のご応募を歓迎しております。

ボランティア活動のサポート体制も充実しています。鉱業博物館に関わりのある秋田大学教員・研究員が博物館や標本のことをわかりやすく解説する講習会や、関連施設や野外に出かけての研修会などを開催しています。得意な分野で、出来る範囲で、活動してみませんか?お気軽にお問い合わせください。

※登録者には鉱業博物館負担による傷害保険に加入いただきます。



活動期間

平成29年4月1日～平成30年3月31日までの一年間

募集対象

高校生以上の方であれば、どなたでも参加いただけます

活動内容

見学者への案内と説明
見学のサポート
館内整備等のサポートなど

問い合わせ先

鉱業博物館 事務局
TEL: 018-889-2461
E-mail: w3admin@mus.akita-u.ac.jp

